

2017B 期施設利用課題募集要項

(放射光科学研究センター)

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
量子ビーム科学研究部門

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（量研）は、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業の実施機関として、また、自主事業（施設共用制度）として、保有する施設・設備を広範な利用に供しています。2017B 期分の放射光科学研究センターの共用施設の利用課題を下記により公募いたします。

1. 利用期間(放射光実験)	平成 29 年 10 月 1 日（日）から平成 30 年 2 月 17 日（土）まで（予定）
2. 公募の締切	平成 29 年 5 月 31 日（水）研究企画室（播磨地区）必着
3. 公募の対象となる放射光装置	<p>QST 極限量子ダイナミクス I ビームライン (BL11XU) 放射光メスバウアー分光装置 共鳴非弾性 X 線散乱装置 表面 X 線回折計</p> <p>QST 極限量子ダイナミクス II ビームライン (BL14B1) 高温高压プレス装置</p> <p>JAEA 重元素科学 I ビームライン (BL22XU) 単色 X 線実験用高温高压プレス装置 ダイヤモンドアンビルセル回折計 大型 X 線回折計</p> <p>装置の利用に関しては、応募される前に技術的可能性等について、各装置の担当者と事前に十分打ち合わせを行ってください。</p>
4. 公募区分	<p>利用課題の定期募集では、成果公開と成果非公開の研究開発課題を募集します。成果公開では一般課題の他に競争的資金利用課題も募集します。成果公開の課題は、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業により支援されるナノテクノロジープラットフォーム課題として受け付けます。成果非公開の課題は、量研の自主事業（施設共用制度）の対象課題として受け付けます。</p> <p>(1)成果公開の利用課題 研究成果を公開する一般課題の場合、施設共用課題審査委員会による課題審査を行います。また、期限内に利用報告書、及び、公益財団法人高輝度光科学研究センター（JASRI）の定めにより、論文発表等で成果を公表することを要件とします。 競争的資金利用課題では装置を「優先的」に利用できますが、資金申請前に装置担当者と合議をしてください。また、競争的資金の審査結果の写し等の提出を求めます。</p> <p>(2)成果非公開の利用課題 研究成果を公開しない場合で、秘密保持等に関してご要望がありましたら、あらかじめご相談ください。</p>
5. 応募資格	大学、民間企業、及び、公的研究機関等に属する研究者等（学生を除く）とします。
6. 利用課題審査	(1)成果公開の利用課題

	<p>施設共用課題審査委員会にて、科学技術的妥当性、量研の装置を利用する必要性、実験の実施可能性、安全性、量研および原子力機構の共用施設を用いて行われたこれまでの研究成果について総合的かつ専門的に審査します。競争的資金利用課題については、施設共用課題審査委員会の審査を省略する場合があります。</p> <p>(2)その他の利用課題 量研の当該施設運営部門にて、実験の実施可能性および安全性を審査します。</p>															
7. 応募方法	<p>「施設共用利用課題応募様式」に必要事項を記入し、「16. 問い合わせ及び申込先」に電子メール添付にてお送りください。応募様式及び記入要領は、以下の web サイトよりダウンロードしてご利用ください。</p> <p>http://www.kansai.qst.go.jp/nano/</p>															
8. 採択結果の通知	平成 29 年 8 月頃に通知する予定です。															
9. 施設共用約款	<p>施設の利用に際しては、量研が定める施設共用約款に基づいてご利用いただくこととなりますので、同約款の内容をご理解の上、応募してください。施設共用約款は以下の web サイトでご覧いただけます。</p> <p>http://www.kansai.qst.go.jp/nano/</p>															
10. 施設利用料金	<p>施設利用料金は、本定期募集における課題に応じて次の通りとなります。</p> <table border="1" data-bbox="376 916 1465 1402"> <thead> <tr> <th colspan="2">公募区分</th> <th colspan="3">施設利用料金 (以下 3 列の合計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果公開課題 (ナノテクノロジープラットフォーム課題)</td> <td>一般課題</td> <td rowspan="3">取扱手数料 (10,700 円) (定額)</td> <td>9580 円/8 時間 (1 シフト) (従量)</td> <td rowspan="3">必要な追加経費 (従量)</td> </tr> <tr> <td>競争的資金利用課題</td> <td>22700 円/8 時間 (1 シフト) (従量)</td> </tr> <tr> <td>成果非公開課題(自主事業課題)</td> <td>一般課題</td> <td>68110 円/8 時間 (1 シフト) (従量) (注)</td> </tr> </tbody> </table> <p>施設利用料金は、今後、経費率等の見直しにより改定される場合がありますのでご承知おきください。</p> <p>(注) 成果非公開利用については、上記の量研の施設利用料金に加えて、JASRI が定める専用ビームラインのビーム使用料 312,000 円/シフトを代行徴収します。なお、当該ビーム使用料が改定された場合には、改定後のビーム使用料を代行徴収します。</p>	公募区分		施設利用料金 (以下 3 列の合計)			成果公開課題 (ナノテクノロジープラットフォーム課題)	一般課題	取扱手数料 (10,700 円) (定額)	9580 円/8 時間 (1 シフト) (従量)	必要な追加経費 (従量)	競争的資金利用課題	22700 円/8 時間 (1 シフト) (従量)	成果非公開課題(自主事業課題)	一般課題	68110 円/8 時間 (1 シフト) (従量) (注)
公募区分		施設利用料金 (以下 3 列の合計)														
成果公開課題 (ナノテクノロジープラットフォーム課題)	一般課題	取扱手数料 (10,700 円) (定額)	9580 円/8 時間 (1 シフト) (従量)	必要な追加経費 (従量)												
	競争的資金利用課題		22700 円/8 時間 (1 シフト) (従量)													
成果非公開課題(自主事業課題)	一般課題		68110 円/8 時間 (1 シフト) (従量) (注)													
11. 利用報告書	<p>成果公開課題 (一般課題、競争的資金利用課題) については、平成 30 年 3 月 31 日までに量研の定める様式の利用報告書を提出していただきます。</p> <p>提出されない場合は、成果非公開課題の施設利用料金が適用され、成果公開課題としてお支払いいただいた利用料金との差額を納めていただく場合があります。</p> <p>なお、利用報告書は実施年度の翌年度中に公開されます。</p>															
12. 成果の公表	<p>量研放射光科学研究センターの共用施設利用における成果公表の要件は、以下の JASRI の定める要件に準拠しています。</p> <p>大型放射光施設 (SPring-8) を利用した場合、課題実施期 (2017B 期) 終了後 3 年以内 (平成 33 年 3 月 31 日まで) に、SPring-8 を利用したことを明記した査読付き論文等を</p>															

	<p>発表し、SPring-8 研究成果データベースに登録することが JASRI により義務づけられております。詳細は JASRI の web サイトをご覧ください。</p> <p>https://user.spring8.or.jp/?p=748</p> <p>期限までに査読付き論文等の成果が公表されない場合は、成果非公開課題の施設利用料金が適用され、成果公開課題としてお支払いいただいた利用料金との差額を納めていただく場合があります。また、今後の利用課題の採択及び利用時間の配分を決定する際に重要な判断基準となります。</p> <p>論文発表等の成果を公表する場合、論文等の実験項や謝辞等に「文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業」による支援を受けたこと、及び、「SPring-8 の量子科学技術研究開発機構の施設」を利用したこと、ビームライン番号や課題番号を明記してください。</p> <p>論文発表等の成果を公表するとは、原著論文、総説、プロシーディングス、書籍、雑誌、社内報、学会、ワークショップ、セミナー、シンポジウム、講演会、特許出願、研究会、報告会、プレス等での公表のことです。</p>
13. 知的財産等の取扱	<p>量研の共用施設の使用に伴い発生した知的財産について特許出願等を行う場合は、施設共用約款の定めに従うこととなりますので、事前に担当者と協議してください。</p>
14. 次回課題募集	<p>平成 30 年度上期（2018A 期）の定期募集を、平成 29 年 11 月頃に行う予定です。</p>
15. その他	<p>課題が採択された場合、採択通知後にご提出いただく書類があります。QST 微細構造解析プラットフォーム事務局からお知らせします。</p> <p>放射光施設および共用施設の予定外の運転停止等により、課題が予定通りに実施できない場合、あるいは、利用時期の変更や利用時間の減少が生じる場合があること、また、量研はそのような場合の補償を行えないことを予めご承知おきください。</p> <p>量研から交通費・宿泊費等の支給はありません。利用者の負担になります。</p> <p>本公募により提供された個人情報、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業、および、量研の施設共用の目的にのみ利用いたします。また、採択された利用課題については、量研の web サイト、および、刊行物に研究代表者氏名・所属・利用課題名等を掲載する場合がありますので、予めご了承ください。</p> <p>文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業の詳細につきましては、以下の web サイトをご覧ください。</p> <p>http://nanonet.mext.go.jp/</p> <p>QST 微細構造解析プラットフォーム、および、量研の施設共用につきましては、以下の web サイトをご覧ください。</p> <p>http://www.kansai.qst.go.jp/nano/</p>
16. 問い合わせ及び申込先	<p>〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都 1 丁目 1-1</p> <p>国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構</p> <p>量子ビーム科学研究部門 研究企画室（播磨地区）</p> <p>QST 微細構造解析プラットフォーム事務局 宮本 依理子</p> <p>TEL : 0791-58-2640 FAX : 0791-58-0311</p> <p>e-mail : ml-qst-nanoinfo[at]qst.go.jp</p>